仙台西多賀病院 地域医療連携室だより vol.44

「特殊診療棟」完成に向けて

院長　武田　篤

本年7月末にようやく特殊診療棟（地下1階、地上2階建て鉄筋鉄骨構造）が竣工します。地下1階には当院待望の特殊大型医療機器であるSPECT-CT 装置（X 線 CT 組合せ型・単一光子放射断層撮影装置）を整備致します。今回導入するのはシーメンスの Symbia Intevo と言う最新機種であり、脳を含む全身の核医学検査を既存の機種を超える精度で実施可能となります。認知症やパーキンソン病を含む各種の神経疾患、さらに骨・関節疾患の病態を明らかとする上で、これまでに無い詳細な検査が可能となり、当院の診療機能を更に大きく向上させることが可能となります。本 SPECT-CT 装置については共同利用体制も整える予定です。当院の検査をご希望される場合は是非ご連絡頂ければと存じます。

また、この建物の1階には現在中央病棟1階にある薬剤部を移設して、各病棟のみならず外来からもアクセスが良くなるようにします。2階には地域医療連携室と医療福祉相談室を統合させ、患者さんの個別相談に応じ易い環境を実現し、地域の関連医療機関との連携がよりスムースに行える様にしたいと考えています。さらにこれを機に、これまで不足していた療育訓練や看護研究についての専用スペースも確保できる予定ですし、地下1階には剖検施設を整備し、最終病理診断まで院内で確定できる体制を整えます。

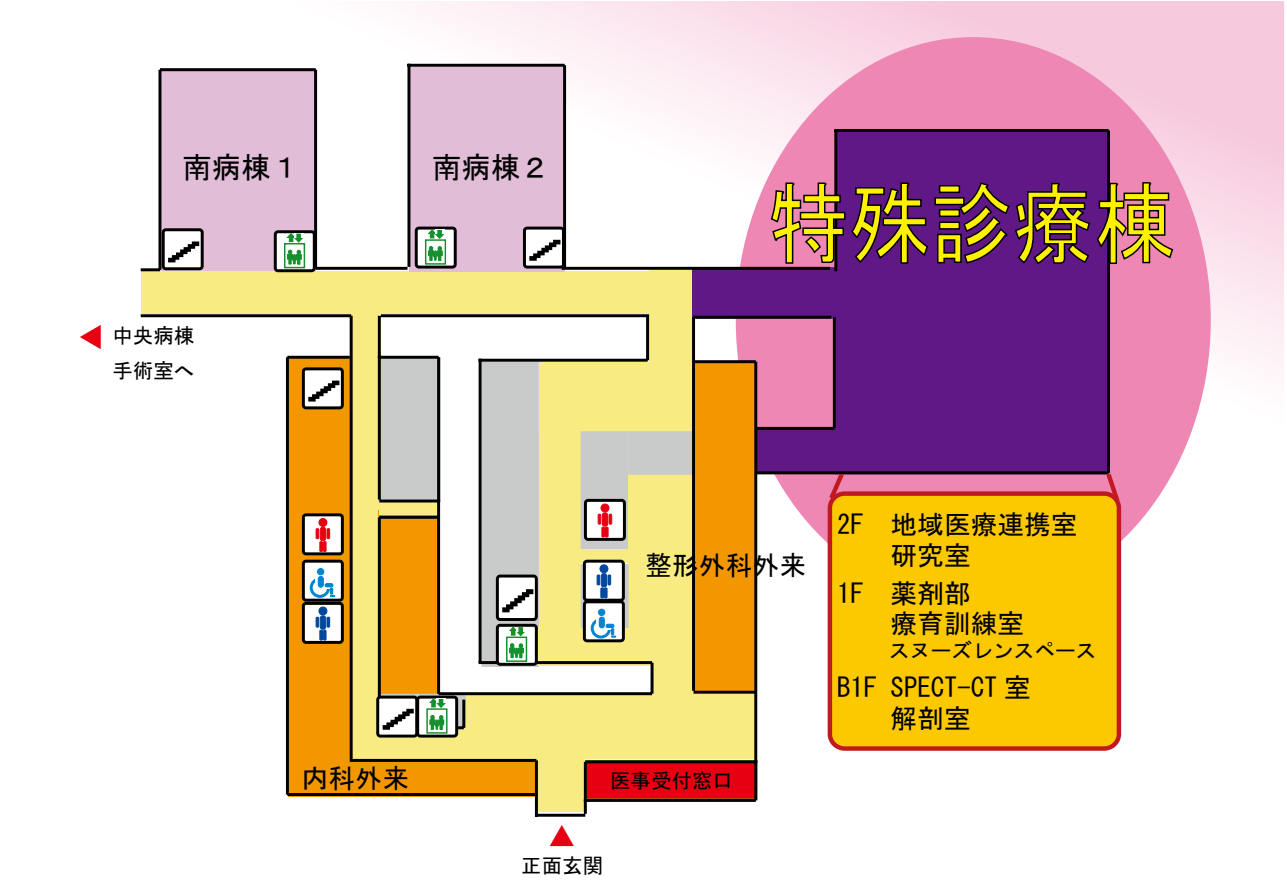
今後はこの特殊診療棟の機能を最大限に活用して、さらに高度の専門性を備えた医療機関として皆様のお役に立てる様にして行きたいと考えております。どうぞ引き続き宜しくお願い申し上げます。

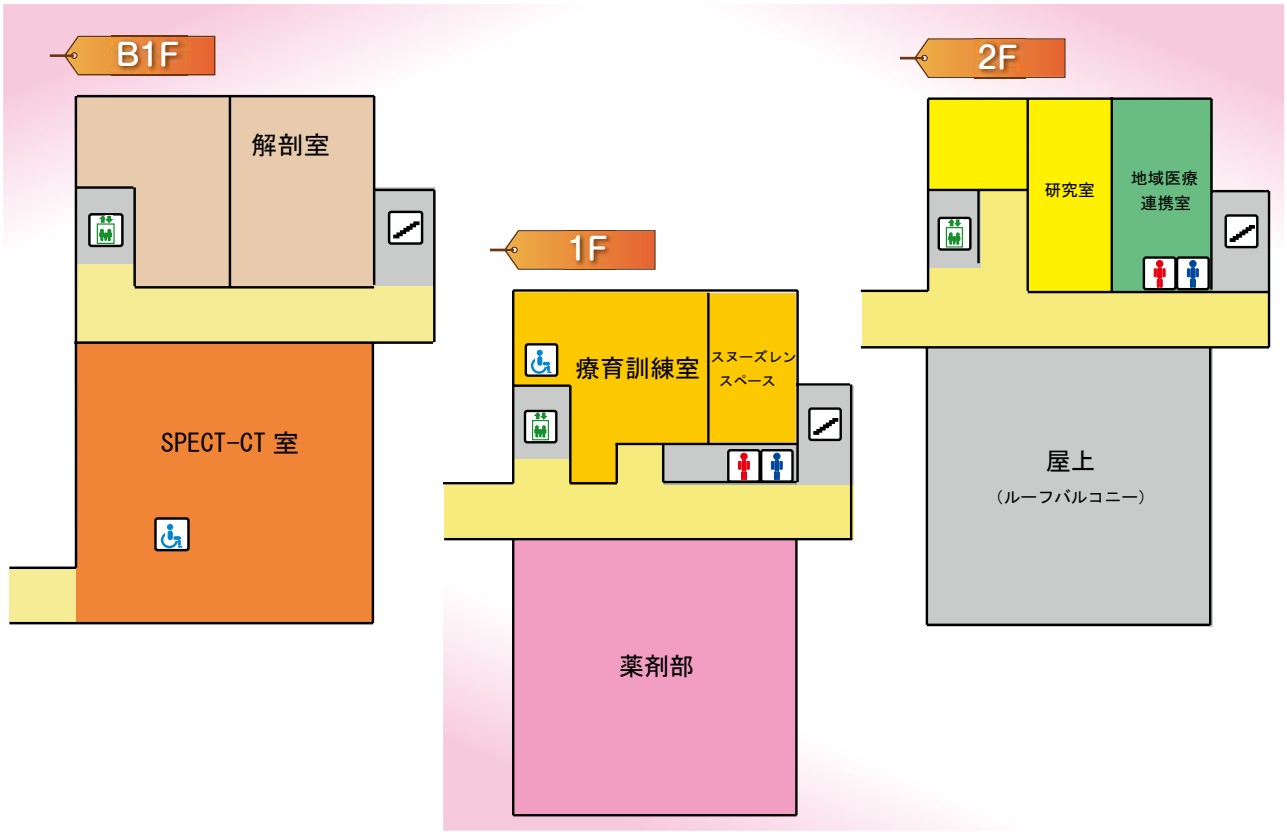
特殊診療棟完成イメージ

～仙台西多賀病院の理念～「良い医療を安全に、心をこめて」

特殊診療棟のご紹介

「特殊診療棟」は地下１階、地上２階建てで下図のような配置となります。７月完成予定です。





SPECT-CT 装置を導入します

当院では、８月より核医学検査を開始いたします。

核医学検査とは、アイソトープ、RI（アールアイ）、シンチ、SPECT（スペクト）などとも呼ばれる検査です。

この検査はごく微量の放射性同位元素を含んだお薬（放射性医薬品、RI）を注射、もしくは経口で患者さんに投与し、RI が目的の臓器（脳、心筋、骨など）に十分に取り込まれたところで、検出器（ガンマカメラ）で撮影します。検査は骨シンチ、ガリウムシンチ（腫瘍・炎症）、脳血流シンチ、脳線条体シンチ（ダットスキャン）、交感神経心筋シンチ（MIBG 心筋シンチ）など各種臓器の機能検査が可能です。

ところで、SPECT とは Single Photon Emission Computed Tomography を略したもので、訳すと単一光子放射断層撮影となります。ガンマカメラを目的部位の周りを回転させて 360° 方向から撮影した画像をコンピュータで処理して断層像を作成するのが SPECT です。その SPECT 装置と X 線 CT 装置を一体化させた装置が SPECT-CT 装置になります。

当院で導入される装置はドイツ・シーメンス社製の最新の SPECT-CT 装置、『シンビア・インティボ（Symbia Intevo）』です。この Symbia Intevo は東北では初の導入となります。診断用 X 線 CT 装置が装備されており、各検査で SPECT と X 線 CT を撮影すれば、CT の画像と重ね合わせて表示（フュージョン）することができ、集積部位を CT の画像で確認することができます。

導入予定の SPECT-CT 装置
『SIEMENS Symbia Intevo』

さらにこの装置は、X-SPECT という新しい画像再構成法を搭載しています。これは骨シンチの SPECT 像を再構成する時に CT のデータを利用することにより、これまでより鮮明な骨シンチ SPECT 像（下図）を作成することができます。これも東北初となり、これまでよりも画質の高い画期的な画像を提供できます。

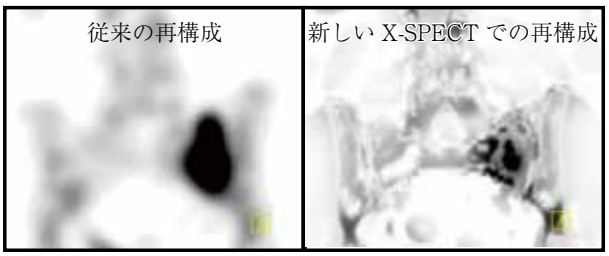
また、ダットスキャンによる脳の線条体の画像を解析するソフト『シニウム（Scenium）』が搭載されており、ダットスキャンの取り込み比（DVR: Distribution Volume Ratio）の定量的指標の計算を線条体全体、尾状核、被殻において解析することができパーキンソン病のより正確な診断に活用できます。

この他にも、各検査でこれまでにない定量的指標を算出することができ、認知症や各種の骨病変などの経過観察にも適しています。

当院ではこの装置の共同利用を計画しておりますので、各医療機関で当院の検査をご検討の際は当院医事専門職までご連絡ください。

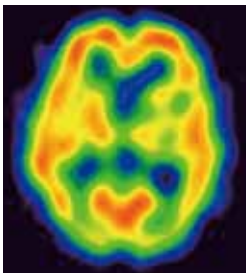
（副診療放射線技師長　小野寺　義晴）

各検査の画像
骨シンチ（SPECT 像）

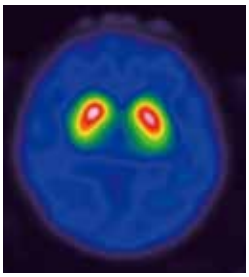


骨盤部コロナル

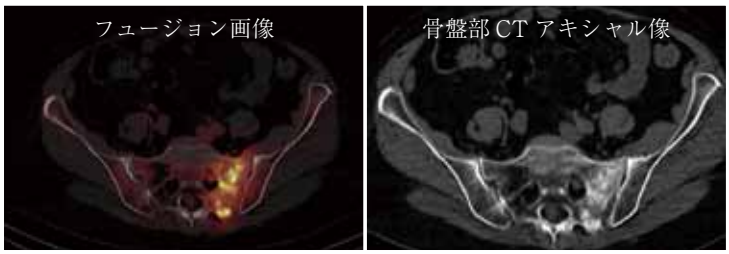
骨盤部アキシャル



脳血流シンチ
IMP 使用



脳線条体シンチ
ダットスキャン使用



骨盤部 CT アキシャル像とのフュージョン画像

※　画像はシーメンスヘルスケア提供

上野山市民まつりに参加しました

平成29年５月７日(日)

in 上野山コミュニテーセンター

来場者数　83名

今年も看護部３名、栄養管理室２名、事務部２名で参加し、骨の強さの測定や、栄養相談、血圧・体脂肪測定等を実施しました。

参加者からの声

今回、初めて上野山市民まつりに参加し、骨ウェーブでの測定・血圧・体脂肪測定などを通して、多くの住民の方と関わらせていただきました。みなさん、「昨年もここで測ってもらったの。」「昨年と比べてどうかしら。」と笑顔で話され、健康についての関心が高いと感じました。病院ではなく地域で生活されている方々に対し、食事で気をつけていることや運動習慣の有無など、普段の生活の様子についてお話を聞かせていただき、栄養士と共に食生活へのアドバイスや骨を丈夫にするためには、カルシウムや日光浴やビタミンDが必須であることなどをお話しさせていただきました。地域の皆様と関われる機会をいただき、私自身楽しい時間を過ごすことができました。

（看護師長　鈴木　美恵）

アルツハイマー型認知症治療地域連携会を開催しました

平成29年５月25日(木)

共催：仙台西多賀病院、小野薬品工業株式会社

プログラム　**座長**：武田　篤院長（仙台西多賀病院）

【Session Ⅰ】『認知症における画像診断』
大泉 英樹 先生（仙台西多賀病院 認知症疾患医療センター長）

【Session Ⅱ】『かかりつけ医と認知症疾患医療センターの医療連携で取り組む認知症の予防と治療』
太田 晃一 先生（医療法人 石和温泉病院 副院長・神経内科）

仙台市太白区、名取市、岩沼市の医療機関や介護保険関係事業所等、認知症支援者を対象に研修会を開催しました。当院の職員49名を含む161名の方にご参加いただきました。

太田先生から認知症疾患センターの役割や認知症の治療と予防についての講話を伺いました。アルツハイマー型認知症の潜伏期間は50歳代ぐらいからはじまるケースもあるため、40歳代からの予防が効果的であるとのお話でした。認知症は珍しい病気ではなく一般的な病気といわれるようになるほど患者数が増えています。医療と介護等多職種が連携して支援することが重要と締めくくられました。

8月から当院で稼働するSPECT-CT装置の画像診断についても講話させていただきました。

（保健師　橋谷田　由美）

開催のお知らせ

第４回筋ジストロフィー医療研究会

「筋ジストロフィー医療の未来を開く」

会期　2017年**10**月**13**日（金）・**14**日（土）

会場　**トークネットホール仙台**（仙台市民会館）

大会長　**武田 篤**（国立病院機構 仙台西多賀病院 院長）

共催　日本筋ジストロフィー看護研究会 第５回学術集会

学会事務局：国立病院機構 仙台西多賀病院 神経内科
TEL：022-245-2111　FAX：022-243-2530
ホームページ：http://pmdmr.umin.jp/

パーキンソン病市民公開講座

日時　2017年**10**月**9**日（月・祝）10:00～12:00

会場　**仙台国際センター　会議棟2F「橘」**

講演『パーキンソン病を生きる』
山本　光利先生
（高松神経内科クリニック　院長）

講演『パーキンソン病における嚥下障害の特徴とその対応』
大村　悠先生
（国立病院機構仙台西多賀病院リハビリテーション科）

事前お申し込み受付（必須）

FAX：022-243-2530　MAIL：kanri2@nishitaga.hosp.go.jp
記載事項：氏名・連絡先ＴＥＬ・参加人数
（担当：仙台西多賀病院 管理課 庶務班長）

「新人看護師ＢＬＳ研修」を開催しました

平成29年６月６日(火)

医療安全教育の一環として新人BLS研修を行いました。BLSとはBasic Life Supportの略で、一次救命処置のことです。今回は、夜間帯に患者が急変した状況を想定し、グループに分かれて実技の演習をしました。胸骨圧迫時の手の位置や腕の角度、AEDの使い方、人工呼吸など、各手技に対し細かく指導が入ります。ひと通りの手技を確認した後、心肺停止状態の患者発見から当直医師に引き継ぐまでの一連の流れを通して復習しました。最初は緊張気味でしたが、指導者のテンポのよい指導に緊張もほぐれ、後半は確実に手技を実施していました。新人看護師は、いつ起こるか分からない急変に備えて落ち着いて対応できるよう、このような研修で繰り返し学び訓練しています。

（教育担当看護師長　吉田　真由美）

新規導入機器のご紹介

「RadspeedPro EDGEpackage」

（平成29年３月導入）

今回新たに導入された装置は、従来通りのX線検査を行うことができる上に、下記の2点（トモシンセシスの撮影、長尺撮影）の特長を加えた最新の装置となっております。

〈トモシンセシス（デジタル断層撮影）〉

トモシンセシスとは検査部位に対して異なる角度からX線を照射することで得られた複数の画像から再構成することによって、任意の断層面を得ることができる撮影です。X線検出器にFPD（フラットパネルディテクター）を使用しているため、短い時間で検査を行うことができます。また同じ放射線診断検査でも一般撮影（レントゲン）よりも情報量が多く、CTよりも被曝が少ないことから、正確・安全・迅速な検査であることが特徴的です。特に整形外科領域において下にあるような描出が難しい体内金属の部位（椎体・股関節・四肢）に対して非常に有効な検査となっております。

〈長尺撮影〉

長尺撮影とは全脊椎や全下肢など広い領域に対して、すぐに画像を参照できるFPD（フラットパネルディテクター）を上下に可動させて撮影することで、まるで1枚の画像のような長尺画像を作成することができます。従来は大きく固い1枚の板を使用し、画像作成に時間がかかってしまい待ち時間が長くなってしまうことや場合によっては固い板の上に寝て撮影するなど患者さんの負担が大きい撮影でした。

しかし長尺撮影を導入したことにより撮影から画像作成まで短時間で終わり、そして低線量で高画質な画像を提供することができるようになりました。

（診療放射線技師長 佐久間　教之）

◎ 仙台西多賀病院の外来は予約制です。

外来担当表

区分			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	せぼね	新患	古泉　豊	川原　央			国分　正一
		再来	国分　正一	国分　正一	川原　央	古泉　豊	国分　正一
			三宅　公太	両角　直樹		三宅　公太（第１・３・５週）	
				八幡　健一郎		大泉　樹	
	関節	新患			田村　則男	田村　則男（第１・３・５週）	
		再来			大出　武彦		田村　則男
	せぼね・関節		須田　英明	須田　英明	須田　英明	須田　英明	
	側弯症						両角　直樹 ※1
神経内科	新患		東北大学医師	髙橋　俊明	武田　篤	吉岡　勝	金原　禎子
				田中　洋康		大泉　英樹	
	再来		武田　篤	吉岡　勝	武田　篤	大泉　英樹	田中　洋康
					髙橋　俊明	金原　禎子	
内科			三浦　明	三浦　明	長崎　明男（第２・４週）		三浦　明
				苅部　明彦（循環器専門）※2			
リウマチ内科				星　陽介			
小児科			小林　康子（成長発達）	小林　康子	午前　小林　康子（乳児健診・予防注射）	午前　小林　康子	
					午後　小林　康子（第１・３・５週）	午後　大村　清（小児筋神経）	
脳神経外科			永松　謙一（第１週）※3				
泌尿器科					東北大学医師（第２・４週）	武弓　俊一	
遺伝カウンセリング							午後　苅部明彦または髙橋俊明※2
もの忘れ外来　※4			大泉　英樹	田中　洋康	馬場　徹	武田　篤	金原　禎子
						佐久間博明	
禁煙外来					武田　篤	苅部　明彦	
歯科							佐藤　敦 ※5

平成29年７月1日　現在

※１ 脊柱側弯症の新患患者様のご紹介は、側弯症外来日（金曜）にお願い致します。
※２ 内科火曜日の循環器専門外来及び金曜日の遺伝カウンセリング外来は完全予約制です。
※３ 脳神経外科は主にパーキンソン病に関連した診療を行っています。
※４ もの忘れ外来は診療情報提供書が必須で完全予約制です。
※５ 歯科外来は主に入院患者の診療を行っています。

独立行政法人国立病院機構
仙台西多賀病院

〒982-8555
宮城県仙台市太白区鈎取本町２丁目11－11
◎電 話：022-245-2111（代表）
◎FAX：022-243-2530
◎URL：http://www.nishitaga-hosp.jp/
地域医療連携室（直通）
◎電 話：022-245-1810
◎FAX：022-245-1811

発　　行／仙台西多賀病院地域医療連携室
発行責任者／地域医療連携室長　髙橋　俊明

※仙台地下鉄を利用して来院される場合は八木山動物公園駅または長町南駅をご利用ください。
※東北道を利用して来院される場合は仙台南I.Cをご利用下さい。
（東北道～山田I.Cまた、山田I.C～東北道はご利用できません。）